

高小コミスクだより

No.6 令和3年11月
かほく市立高松小学校
校長 笹山明夫
学校コーディネーター
澤野直美

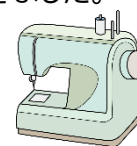


ミシン学習 < 6年生 >

10月20日(水)6の2、22日(金)6の1



家庭科の時間に、山口外美さんと東谷真紀子さんにミシンの使い方を教えていただきました。子ども達は積極的に質問して、ナップザックやバック作りを頑張りました。



哲学対話 < 5年生 > 10月21日(木)

西田幾多郎記念哲学館の中嶋優太さん、藤本夏実さん、山名田沙智子さんが来校されました。



哲学対話とは、答えのない「問い(疑問)」をめぐって、児童自身が対話し、考えを深める体験です。話しやすい雰囲気の中で、子ども達は、友達の意見を聞き、活発に意見を出し合いました。



共に生きる <4年生>



10月25日(月)

「目の不自由な方の生活にふれてみよう」

西寿一さんが普段の生活の様子をお話してください、料理をしている動画を見せてくださいました。また、盲導犬ウーノとの階段の昇り降りの様子も見せてくださいました。



10月29日(金)

「聴覚障がいについて理解しよう ～共に生きる～」

濱本真由美さん、龍文さんご夫妻、要約筆記者の方々をお招きして、耳が不自由な人の不便なことやコミュニケーション方法等を教えていただきました。そして、手話を習ったり、筆談で質問をしたりして理解を深めました。

かほく市社会福祉協議会の宝達さん、谷内さんには、福祉についての学習の企画から、当日の進行等大変お世話になりました。



古タオルリメイクプロジェクト贈呈式

10月27日(水)



高松中ジュニアボランティアサークル「絆」のメンバー、デイサービス「暖」の古谷さんが来校されました。回収運動で集まった古タオルで、「暖」利用者さんが作ってくださった雑巾を100枚いただきました。大切に使用させていただきます。

室町時代と茶道 <6年生>

10月28日(木)



室町時代から続く伝統文化や茶道について本田佳恵子さんがお話してくださいました。また実際にお茶を立てて、作法を体験しました。

